

温浴療法用装置の衛生管理について

平素より、当社製品をご愛顧頂き、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

この度、レジオネラ症防止を目的に「温浴療法用装置の衛生管理(消毒・殺菌・清掃)」につきご参考にしていただく資料を作成しましたので、ご案内させていただきます。

■ 対象とする温浴療法用装置

販売名
エジェクターバスエアー HK-122
エジェクターバスエアー HK-121
エジェクターバス HK-152
エジェクターバス HK-151
エジェクターバスエアー HK-123

販売名
エジェクターバス HK-21
エジェクターバス HK-22
エジェクターバス HK-23
エジェクターバス HK-51
エジェクターバス HK-52

※ エジェクターバス/エジェクターバスエアー(HW-110/150/210/250)については、取扱説明書記載の「レジオネラ属菌の感染を予防するために」をご参照ください。

販売名
バブルバス HK-31
バブルバス HK-32
バブルバス HK-33

販売名
噴流発生装置 HK-15
噴流発生装置 HK-12
気泡発生装置 HK-16



HK-121



HK-122



HK-123



HK-151



HK-152



HK-21



HK-22



HK-23



HK-51



HK-52



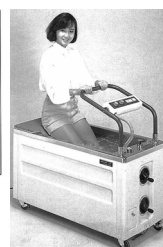
HK-31



HK-32



HK-33



HK-12



HK-15



HK-16

■ 製品の衛生管理（消毒・殺菌・清掃）について

レジオネラ属菌によるレジオネラ症の防止については、定期的な衛生管理（消毒・殺菌および清掃）が有効な手段として示されております。

- 厚生労働省健康局生活衛生課長通知「平成13年9月11日付 健衛発第95号 循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアルについて」を参考にしてください。

※ 最新版は「令和元年 12 月 17 日改正」分となります。（2025 年 6 月 17 日時点）

定期的な衛生管理（消毒・殺菌および清掃）について、以下に記述いたします。

1. 温浴療法用製品の消毒・殺菌方法

レジオネラ属菌に対しては、塩素剤による殺菌効果が確認されておりますので、温浴療法用装置および浴槽水の消毒・殺菌に「次亜塩素酸ナトリウム（溶液）」をお勧めします。

消毒・殺菌の頻度は、1 週間に 1 回以上の消毒・殺菌を実施してください。

- ① 次亜塩素酸ナトリウム（6%濃度）を準備します。

必要な量だけ最寄りの薬局店等よりお求めください。

前述の「次亜塩素酸ナトリウムの管理と取扱い」を参考に、取り扱ってください。

- ② 温浴療法用装置へ、通常使用状態と同じ様にお湯を貯めます。

- ③ 次亜塩素酸ナトリウム（6%濃度）をお湯の中央部付近に投入（滴下）します。

投入量は、ご使用頂いている装置に応じ、下記の〈表1〉から選択してください。

- 〈表1〉に記載の値は、10mg/L(ppm) 濃度を目標にしたものです。

装置への影響やトリハロメタンの発生を考慮すると、5～10mg/L(ppm) 程度の濃度が適当と考えられます。

- ④ 投入した次亜塩素酸ナトリウムを攪拌します。

装置の噴流または気泡を数分間作動させて、次亜塩素酸ナトリウムを攪拌します。

- ⑤ 攪拌後、4時間程度その状態で放置します。

- ⑥ 所定時間が経過後、装置内のお湯を排水します。

排水後、十分に装置の槽内および配管内を清水（水道水）で洗い流してください。

- 排水後、改めて装置に清水を貯め、装置を数分間作動させて、槽内および配管内を清掃されることをお勧めします。

槽内にある取り外し用カバーは外し、内部をシャワー等で洗い流してください。

- ⑦ 以上で、温浴療法用装置の消毒・殺菌は終わりです。

＜表1＞ 次亜塩素酸ナトリウム(6%濃度)の投入量 目標濃度 10mg/L(ppm)

	型式	次亜塩素酸ナトリウム 投入量	浴槽容量
温浴療法用装置	HK-122	約 16mL	95L
	HK-121	約 5mL	27L
	HK-152	約 16mL	95L
	HK-151	約 5mL	27L
	HK-123	約 30mL	180L
温浴療法用装置	HK-21	約 6mL	35L
	HK-22	約 21mL	125L
	HK-23	約 33mL	200L
	HK-51	約 6mL	35L
	HK-52	約 21mL	125L
	HK-31	約 6mL	35L
	HK-32	約 20mL	120L
	HK-33	約 33mL	200L
温浴療法用装置	HK-12	約 13mL	80L
	HK-15	約 5mL	30L
	HK-16	約 13mL	80L

2. 温浴療法用装置の清掃

使用後は、必ず排水して、十分に清掃してください。

■ レジオネラ属菌について

レジオネラ症とは

レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因で起こる感染症で、乳幼児、高齢者、病人など抵抗力の低下している人がかかりやすい傾向にあります。レジオネラ肺炎は、レジオネラ症の大半を占め、高熱、寒気、筋肉痛、吐き気、意識障害等を主症状とする肺炎で、時として重症になる場合があります。

レジオネラ属菌は、土壌や河川、湖沼など自然界に広く生息しています。一般に、20～50℃で繁殖し、36℃前後で最もよく繁殖します。また、アメーバなどの原生動物の体内で増殖します。

レジオネラ症の感染源

これまでに給水・給湯設備、冷却塔水、循環式浴槽、加湿器、水景施設(噴水、池等の人工的に造られた水環境をいう)、蓄熱槽等からの感染が報告されています。

レジオネラ症の感染経路

一般的に、汚染水のエアロゾル(気体中に浮遊する微少な水滴など)の吸引のほか、汚染水の吸引、嚥下・経口感染等と考えられます。

■ 次亜塩素酸ナトリウムの管理と取扱い



●次亜塩素酸ナトリウムの管理は、管理責任者をおき、厳重に管理してください。

1. 酸性の製品やその他の製品と混合・併用はしないでください。
有毒な塩素ガスが発生し、人体に悪影響を及ぼします。
2. 万一、塩素ガスを吸い込んだ場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
3. 次亜塩素酸ナトリウムは、経時変化で殺菌効果が弱くなります。
薬液の補充にあたっては、必要な量だけ最寄りの薬局店よりお求めください。
また、使用期限を過ぎた薬液は使用しないでください。



●次亜塩素酸ナトリウムの取扱いにあたっては、十分な換気を行い、次亜塩素酸ナトリウムが体にかからないように、保護具(マスク、ゴム手袋、長靴等)を着用してください。

1. 次亜塩素酸ナトリウムを誤って人体、衣服につけた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。
衣類につけたまま放置しますと、場合によっては塩素ガスが発生する危険があります。
2. 万一、目に入った場合は、直ちに水道水などきれいな水で目を開けて十分に洗い流し、「次亜塩素酸ナトリウムが目に入った」と告げて、医師に相談してください。
3. 誤って飲んだ場合は、直ちに大量の水か牛乳、生卵等の有機性の高い食品を多量に飲み下し、「次亜塩素酸ナトリウムを飲んだ」と告げて医師に相談してください。
4. 使用中または使用後に、発赤、腫れ、かゆみ、灼熱感、水疱などの皮膚症状があらわれた場合も医師に相談してください。



●次亜塩素酸ナトリウムの保管及び廃棄については、次の事項に注意してください。

1. 小児の手の届かないところに保管してください。
2. 直射日光を避け、涼しいところに保管してください。
3. 他の容器に入れ替えたりすると、誤用の原因になったり、品質変化の原因になりますので、そのまま保管してください。
4. 使用後の容器は、残留物の有無を確かめ、よく水で洗った後廃棄してください。
 - ①少量であれば排水口より廃棄しても構いませんが、配管を傷めますので多量の水で希釈しながら行ってください。
 - ②浄化槽処理への排水は、必ず中和処理を行ってください。
処理には、亜硫酸ナトリウムの薬剤で中和するか、加熱して分解させてください。
少量であれば容器などに入れて、天日により分解させて廃棄してください。

以上